

にんじんの「紅葉」?? それは病気かも??

営農支援センター 営農技術課
TEL:0123-88-3330
E-mail: einougi.jyutu@hokuren.jp

【ポイント】

- 病名 ニンジン黄化病（右記アブラムシが媒介するウイルス病）
- 症状 下葉の葉縁から赤・黄化する（上葉も退緑）
- 被害 根重が20%～減少する恐れあり
- 対策 5月以降のアブラムシ防除・畑の管理の徹底



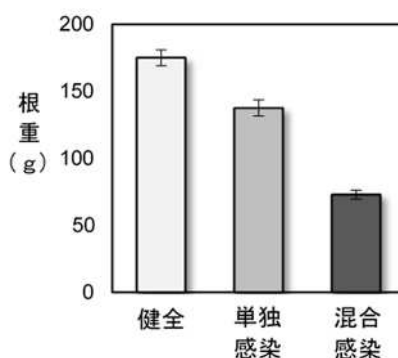
ニンジンフタオアブラムシ

① どんな病気?



- 病原 ニンジン黄化ウイルス
 - 媒介者 ニンジンフタオアブラムシ
 - 特徴 葉の赤・黄化
- 注：複数病原体（斑紋ウイルスや随伴RNA）との混合感染で病徴が強まる

② 減収の恐れあり



- 根重が20%～低下
- 混合感染するとさらに減少する恐れも

もっと詳しく!!

～ウイルスの宿主範囲について～

感染する	ニンジン、チャービル、パクチー、ディル、ノラニンジン（雑草）
感染しない	パセリ、セロリ、フェンネル

⇒ 一部のセリ科にしか感染しない

【参考情報】

- ・吉田ら(2020)日植病報 86(3), 213
- ・Yoshida (2020) Plant Pathol 69(7), 1379-89
- ・吉田 (2020) アグリポート 25, 19-20

③ 対策は? 注意することは?

- アブラムシの適期防除
例：ゲットアウトWDG 3000倍（H23指導参考事項）
→ヨトウムシやその他アブラムシの同時防除が可能
- 畑の中の発病株・疑わしい株の抜き取り
- 他障害との区別
様々な地下部の障害（軟腐病や食害等）でも葉が着色するが、ニンジン黄化病の症状は「下葉」の「縁」から!